

# 腹部大動脈瘤ステントグラフト治療後の大動脈瘤開腹手術に関する検討

## 1. 研究の対象・方法

対象： 2007年～2023年12月31日の期間において当院で腹部大動脈瘤ステントグラフト（EVAR）治療後に大動脈瘤に対して開腹治療になったかた。

方法： 電子カルテ、手術記録よりデータ収集：

○EVAR前の症例情報、○開腹手術の手術情報、○開腹術直後後、1年後、2年後のCT、エコー画像等

データの分析方法：手術までの期間、動脈瘤の大きさ、ステントグラフトの種類、手術術式、合併症、術後の大動脈関連イベントの発生などを解析する。

## 2. 研究目的・方法：

目的：当院では腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療（EVAR）を2007年から開始してきた。その間にエンドリーク、ステントグラフト感染などにより開腹治療を余儀なくされた症例が少なからず存在する。そのような症例に対して当院では可能な限り開腹手術による治療を行ってきた。しかし、その術式は様々である。今回は、EVAR後の開腹治療に至る原因の究明、開腹治療後の短期～中長期成績などについて解析し、様々な術式の妥当性などを検討したい。

方法：電子カルテ、手術記録よりデータ収集し、データを解析する。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類：電子カルテ、手術記録よりデータ収集：

○EVAR前の症例情報、○開腹手術の手術情報、○開腹術直後後、1年後、2年後のCT、エコー画像等

## 4. 外部への試料・情報の提供：なし

## 5. 研究組織

心臓病センター榊原病院

## 6. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町2-5-1

電話：086-225-7111

担当者：吉鷹秀範

研究責任者：吉鷹秀範